

平成 30 年度

家庭教育支援員（親学習リーダー・訪問型家庭教育支援員）スキルアップ連続講座（第 1～4 回）

大阪府新別館にて、3 日間・4 回にわたるスキルアップ連続講座を開催しました。更なるスキルアップを目指して、府内各地域で中心的な役割を担っていただいている家庭教育支援員の方々から、100 名を超える参加申込みをいただきました。

【8 月 28 日】

講 師：大阪府教育庁 地域教育振興課
「大阪府の現状と課題・取組み」

大阪府の家庭教育支援をめぐる現状について、データ等を用いて説明しました。また、家庭教育支援員として活動するにあたり、ご理解いただきたい大阪府の取組みと課題、今後の方向性についても説明しました。

講 師：市原 悟子 氏
（社会福祉法人アトム共同福祉会 理事長）
「保育現場における保護者支援の現状と取組み」

保護者支援が必要な背景や、地域で子どもを育てるためのポイント、支援する際に意識すること等、ご自身の保育園における様々な経験や実際の事例をもとに、お話しいただきました。



参加者の声

- ・ありのままの自分で、思いを言い合う場作りが必要だと学んだ
- ・子育てに絶対の正解はない、ということがわかり、心が軽くなった

「スマホ・ケータイ・ネット利用について」

* 講 師：大阪府 青少年課
「大阪府の取組み」
「適切なネット利用のための事例・教材集の活用について」
* 講 師：株式会社ジュピターテレコム（J:COM）
（「大阪の子どもを守るネット対策事業」連携企業）
「あんしんネット教室」

スマホ所持率や毎日のネット接続率等、子どもに関するネット利用の調査結果や課題、それに対する大阪府の取組みについて、青少年課から説明がありました。また、株式会社ジュピターテレコム（J:COM）様からは、ネット利用時の注意すべき点や有効な活用方法をご紹介いただきました。グループワークでは、SNS によるコミュニケーションについて、具体的なケースを想定し、子ども達の現状や、支援できることを話し合いました。

参加者の声

- ・知ることが防ぐこと、本当にその通り
- ・「どう伝えるか」について参考になった
- ・ワークショップで話しながら問題点を考えられ、楽しく勉強できた



【9 月 10 日】

講 師：大阪府教育庁 地域教育振興課
「人材育成（メンタリング）」

人材育成の手法であるメンタリングを用いた、家庭教育支援チーム内での後輩育成や、保護者との接し方について講義を行いました。

参加者の声

- ・支援員として、役割の大切さを改めて感じた
- ・今後支援員となる人に、負担なく楽しく、活動してもらえそう
- ・自分を変えることが必要であり、相手を受け入れることは難しいが、大切だと思った

意見交換：「これからの家庭教育支援について」

「持続的な家庭教育支援を考える」というテーマのもと、グループごとに 3 回話し合いを行いました。各回メンバーが移動し、様々な角度や切り口で交流ができました。



参加者の声

- ・他市の方の意見を聴けて、とても参考になった
- ・ますます家庭教育支援が重要になると痛感した

【10 月 18 日】

「平成 30 年度 第 1 回家庭教育支援
スキルアップ研修」として実施

講 師：杉本 厚夫 氏
（関西大学 人間健康学部 教授）

「社会的親のすすめ」
一見て見ぬふりをする社会から、
おせっかいな社会へ
子どもの様子や人間関係の変化について、社会背景とともに話しいただきました。人と人との思いやり支え合う人間関係を育み、頼み頼まれるような地域をつくること、他人の子どもも自分の子どもとして考えられる社会的親が増えることの大切さ等のお話がありました。

参加者の声

- ・まずは子どもの話を聞くことが大切、ということがよくわかった
- ・自分がよその子の社会的親になる必要性がわかった

